



三田村 徳
-Akira MITAMURA-

元青年海外協力隊

『日本の理学療法を世界へ伝える』

三田村 徳 -Akira MITAMURA-

- ◎ 所 属：東北医科薬科大学病院
元青年海外協力隊（フィジー国立リハビリテーション病院派遣）
- ◎ 入学期：大学8期生 ◎ 出身地：宮城県柴田町槻木

Q 1. PTをめざそうと思ったきっかけは？

祖母が病院へ入院していた際に初めて理学療法士を知り、人のために尽くすとても素晴らしい職業だと感じていました。高校生時代に夢がなかったため適性診断を受け理学療法士と推奨され、なんとなく目指そうと思いました。

Q 2. 国際協力を通じて感じた、日本の理学療法の印象は？

日本の理学療法は世界と比べると発展しており研究や技術、専門性もとても高いです。海外では理学療法士が不足しているため日本からの国際協力を求めています。帰国後も国内外問わずグローバル人材の需要が高まっています。

Q 3. 高校生・在学生へのメッセージ

「今」の時間を大切に未来へ希望を持つこと、そして世界を客観視するだけでなく自分で切り拓くように行動し、人のために熱中して取り組めると楽しいと思います。校内でも友達と実技練習したり、食堂で食べたりする瞬間も大切にしてください。

